

事務事業名	道の駅等の既存観光施設活性化推進事業		所属部	産業観光部	所属課	観光振興課 (観光施設再生活用推進室)			
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	観光施設再生活用推進G	課長名	高橋 司		
	施策名	〈36〉観光の振興		担当者名	加藤 雄二	電話番号	0854-40-1054 (内線) 2431		
	基本事業	〈107〉受け入れ施設の充実		予算科目	会計	款	大事業	大事業名	観光振興総務管理事業
	目的対象	A)市外の人 B)市民	意図		A)市内で観光を楽しんでもらい、消費してもらう。 B)観光情報を発信する。	項	目	中事業	中事業名

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
道の駅の利用者、運営者(指定管理者:駅長)、登録者(雲南市)	道路利用者の利便性向上と道の駅の利用促進
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (R4 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	【道の駅】R4年度に各駅ごとのビジョン、アクションプランを作成するとともに、施設改修案ならびに優先順位に関する計画をつくる。R5年度以降、優先順位の高い施設個々の改修計画を進める。また、道の駅周辺MAPなどの製作も行う。 【その他】R4年度より、JR木次駅前の活性化に向けた対策の実証事業を行い、R6年度からの観光列車「あめつち」運行開始に対応する。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動) ・道の駅活性化ビジョンの作成 ・JR木次駅前活性化(実証事業の実施) ・道の駅個別支援	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) R3年度の食の幸発信推進事業の見直し方針に加え、コロナ禍等の影響による道の駅等の経営不振が発生したことにより、観光施設の活性化が大きな命題となった。本事業はそれに対する対策の一つである。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 道の駅利用者数	人	449,997	416,042	496,042	550,000
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	財源内訳	② コストの推移					
		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)	
○報償費 274千円 (プロポーザル審査員、アドバイザー)		国庫支出金	千円				
○需用費 151千円(センサーなど)		県支出金	千円				
○委託費 4,611千円		地方債	千円			5,100	
・道の駅活性化ビジョン作成業務(3456千円)		その他	千円		5,036	1,986	
・木次駅前の賑わいづくり検証事業(1155千円)		一般財源	千円			935	
		事業費計	千円	0	0	5,036	8,021

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	○道の駅活性化ビジョンを作成。ソフト面ではR5~R6年度の運営に関するビジョンとアクションプランを決定。ハード面では改修案(レイアウト)、改修に関する優先順位を決めた。 ○木次駅前の賑わいづくり検証事業において、きすきマルシェの拡大版として飲食を含めた事業を11月、12月の2回開催した。また、駅前の賑わい空間づくりとして座れる場所(芝生エリア)を作成した。
② 事業実施するうえでの課題	○道の駅活性化ビジョンについては3月、5月の産業建設常任委員会で説明したが、その中で集客策については一層の工夫が必要であるとの意見があった。道の駅の個別支援は継続していく必要がある。 ○木次駅前広場のイベント利用が難しくなっており、その代替えの場としてチェリヴァホール前がより重要となっている。4月の桜まつりでは、芝生エリアの周りの出店が増え、売上が向上した。駅前の賑わいづくりに向けては、滞在空間づくりやイベントなど更に充実させていく必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	○道の駅改修の優先順位を提案したので、その改修に向けて予算確保を進めていく必要がある。あわせて個々の駅については、作成したビジョン、アクションプランを基に、継続的に集客策等に取組んでいただく必要がある。 ○道の駅の防災化について、国県との連携を密にして推進していく必要がある。 ○木次駅前、観光列車「あめつち」の乗客に向けた賑わいづくりが必要になっている。